

6年生『全国学力・学習状況調査』の結果について

全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対して支援していただければありがたいと思います。

〈国語〉

○成果……文章を読み取る力

文章から2つの資料を使った理由について読み取る問題の正答率は82%（全国の正答率75%）でした。また、資料に記された点線部分の文章について適切な内容を読みとる問題の正答率も全国の正答率とほぼ同程度でした。これは、授業で物語文を扱う際、登場人物の様子や考えなどについて文章に書かれていることから読み取り、それを自分の考えにつなげることを大切にしてきた成果だと考えます。

●課題……条件に合わせて自分の考えを書く力

問題に書かれた文章を使って、例文を説得力のある文章に書き直す問題の正答率は42%（全国の正答率57%）でした。また、資料を使って50字以上、70字以内にまとめて書く問題の正答率は12%で全国の正答率30%を大きく下回りました。条件に合わせて自分の考えを書くことに課題が見られました。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

自分の考えを書く活動をする際、文字数の制限やキーワードを必ず入れるといった条件を与えて書くことを意識して取り入れ、その条件にあった文章が書けるように練習していきます。

○成果……速さ、時刻

時速を求める「速さ」の正答率は94%（全国の正答率85%）でした。また、何分後かを計算して求める「時刻」の正答率も94%（全国の正答率89%）でした。これは、ICTを使うことで視覚的にもわかるように授業を計画したり、習熟度別少人数学習で児童が自分の課題に合う学習を行ったりしたことの成果だと考えます。

●課題……直角三角形などの面積、自分の考えを文章化すること

「三角形の面積」の正答率は27%で全国の正答率（55%）より大きく下回りました。誤答の結果を分析すると、面積の公式を忘れてしまっていたり、三角形の高さがどこかわからずに計算をしたりして間違ってしまう児童が多く見られました。また、自分がそう答えた理由を文章化することにも課題が見られました。

課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

週末プリントで、三角形だけでなく台形など様々な図形の面積を求める学習を重点的に行っていきます。また、普段の授業で児童が問題をどのように解決するかを文章化できるようにするために、今後もノートに「考え方」を書くことを大切に、自分の考えをまとめる時間を多く取り入れていきます。

〈算数〉

【保護者の方へのお願い】

今回の調査の結果から、予習や復習を行っている児童が少ないということがわかりました。習ったことを確実に身に付けるためには、その日に学校で学習した内容を自主勉強ノートにまとめたり、テストで間違ったところをおさらいしたりといった復習をしっかりとすることが大切です。ご家庭でも声をかけてください。